



## 動物は 友達

### 心あつたかニュース

トルコのある病院のスタッフが外で苦しそうに鳴く猫の声を耳にした。すると病院の入口に1匹の猫を発見。その大きなおなかを見て、妊娠していることを悟ったスタッフ。安全な出産場所を探していたんだな、と思い院内に招き入れた。しかし彼女が求めていたのは出産場所ではなかった。出産がうまくいかず痛みを耐えかね困り果てた末、助けてもらいたい一心でここにやってきていたのだ。心優しいスタッフに院内に入れてもらってからも、「助けて！おなかの子が大変なの！」と鳴きながら必死に訴えていたのだ。猫の異変を察知したスタッフはついに難産に気がついた。そこで大急ぎで動物病院に彼女を搬送した。動物病院に到着した彼女は、診断で自然分娩には多くの問題を抱えていることがわかった。すぐさま獣医は帝王切開にとりかかった。幸いなことに手術は順調に進み、頑張った彼女はようやく健康な4匹の子猫の母となった。

母親も出産に耐え、徐々に元気を取り戻していった。母子たちはすべて保護され、施設では彼らを家族に迎えてくれる家庭を募集しているという。地域猫、地域犬などの考えが根付いており、窮地にある動物に手を差し伸べる人々が大勢いるトルコ。野良猫を地域猫として扱い、彼らの自由を尊重しながら手を差し伸べるトルコ。母猫が人間がいる施設を選択したのは、地元の人と野良猫が良い関係を築いている証なのかもしれない。方ラパイアより）

### 同じ命を大事にする

トルコのイスタンブールにある病院に、1匹の母猫が子猫を口にくわえて連れて来たのだ。しかし、そこは人間の病院だった。当時トルコでは、増え続ける新型コロナウイルスの感染者数で、医療従事者たちは患者の治療に追われていた。そんな中、そこが病院であることを知っていたかのよう助けを求めてやって来た母猫を見た救急隊員や医師たちは、猫の周りに集まった。

その後医師たちは、子猫の健康状態に問題がないかどうか診察した。子猫を人間に預けている間、母猫は医療スタッフからミルクと餌を与えられた。幸いにも、子猫が命に関わる病気などではないことがわかったが、念のためにと医師たちは母猫と子猫を獣医院へ連れて行ったという。方ラパイアより）

### 編集後記

人間が大切にすると、動物も安心して頼ってくれるのかもしれない。二つのニュースを見ていて、感じたことです。地球は多種多様な命の星。どの命も大切にしているのは、子供を愛する気持ち。それは共通ですね。